

各位

神戸市教育委員会事務局
学校環境整備課

竜が台中学校区（竜が台小・菅の台小・竜が台中）における小規模校対策（学校規模適正化）
～第4回説明会～実施結果のご報告

平素は神戸市の教育行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、竜が台中学校区においては、小規模校対策に関して子供たちの教育環境の向上の観点から、これまでも保護者や地域の皆様を対象に説明会を開催し、意見交換を行って参りました。

このたび、下記のとおり4回目となる説明会を行いましたので、その結果をご報告いたします。

＜記＞

1. 第4回説明会日程及び場所（いずれも説明内容は同じ）

日程（全4回）		場所
令和7年12月19日（金）	9:30～・13:30～	菅の台小学校
令和7年12月20日（土）	10:00～	竜が台中学校
令和7年12月22日（月）	19:00～	竜が台小学校

2. 対象

- 竜が台小学校・菅の台小学校・竜が台中学校にお子さまが在籍している保護者
- 今後、竜が台小学校・菅の台小学校にお子さまが入学予定の保護者
- 地域の方

3. 説明会の主な内容

- これまでの説明会の振り返り
- 小中一貫教育、義務教育学校の成果や課題
- これまでの意見交換を踏まえた教育委員会としての考え

4. 出席者数

- 合計 43人（全4回の延べ人数）

5. 主なご質問・ご意見

紙面の関係上、説明会当日にいただいた主なご質問、ご意見を掲載しています。ご了承ください。

ご意見・ご質問	神戸市教育委員会より
・小学生と中学生が一緒の場所で過ごすことに不安があります。他の義務教育学校で移行したことにより問題になった事例はあるのでしょうか。	・他都市においても義務教育学校で問題になった事例はありません。本市の2校の義務教育学校でも子供たちは仲良く学校生活を過ごしていると聞いています。
・2028年度に施設分離型で開校し、2030年度に施設一体型で開校する予定という説明がありましたが、分離型とはどのようなものなのでしょうか。	・竜が台中学校の校舎の増改築工事を行い、2030年度に施設一体型の義務教育学校の開校を予定しています。開校までに約5年を要する見込みのため、現在、在籍している子供たちに対しては、義務教育9年間でめざす子供像を設定し、例えば校外学習を合同で行ったり、中学校籍の教員が小学生の指導をしたりするなどできるところから小中一貫教育を実施していきたいと考えています。

・施設一体型の義務教育学校が開校して初めて3校の子供たちは出会うことになるのでしょうか。それとも、事前に交流を行うのでしょうか。	・今後、各校で検討をしていくことになりますが、できる範囲内で事前に交流を行うことが良いと考えます。なお、6年生はプログラミング学習の一環でこれまでも交流を行っています。また、教職員は夏休みなどの長期休暇の際、合同で研修を行っています。
・義務教育学校へ移行することへの賛否について、アンケートは実施しないのですか。親が経験したことのない義務教育学校へ子供を進学させることに不安があります。	・賛否についてアンケートを実施する予定はありません。この件はアンケートの多数決で決めるような問題ではないと考えています。 また、これまで計22回、延べ約400人の方に説明を行い、様々なご意見を頂戴しました。それを踏まえ教育委員会では、この地域においては義務教育学校への移行が望ましいと考えています。義務教育学校への移行に向けて、行事や制服、給食のあり方などについてご質問を頂戴していますが、これからも丁寧に説明し、意見交換を行いたいと思います。
・義務教育学校に移行するのであれば、専科の教員が小学校で教える機会が増えるといいと思います。	・具体的な教育プログラムは今後検討していきます。また、音楽や美術等の専科の教員だけでなく、例えば中学校の英語科の教員が小学生に英語を教えることで、系統的な学習ができると考えています。義務教育学校へ移行し、柔軟な教員配置をすることでより良い教育を行っていきたいと思います。
・教員が受けもつ学年について、中学校ではもち上がりが多いと思いますが、義務教育学校になっても後期課程についてはそのようになるのでしょうか。	・教員がどの学年を担当するのか、後期課程の教員はもち上がりとなるのかに関して、特にきまりはありません。

6. その他のご意見

・小学校における単学級のデメリットが大きいです。義務教育学校へ移行するとクラス替えができるようになるので安心できます。多くの人と関わることで、子供の成長が増す機会が多くなれば良いと思います。
・今の子供たちは自分たちと違う社会を生きることになり、求められる力も違っていると感じます。義務教育学校になり、子供が成長するのではないかと期待しています。早く、この取り組みを進めて欲しいと思います。
・他都市では子供たちが主体となって校則を決めているという学校もあると聞いています。新しく義務教育学校になった際、子供たちが校則を考えるというのはどうでしょうか。
・今まで小学校6年間、中学校3年間という枠組みで授業をしてきた教員が、いきなり9年間の小中一貫教育に対応できるか心配があります。開校まで5年近くあるので、その間に教員も小中一貫教育についてしっかりと理解し、子供たちを指導してほしいです。
・義務教育学校が開校するまでに、他の義務教育学校や給食センターを見学したいです。
・義務教育学校に移行した場合、制服や給食がどのようなようになるのか知りたいです。

※これまでの説明会資料や報告書は神戸市ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

URL <https://www.city.kobe.lg.jp/a11243/kosodate/gakko/school/gimukyoiku/ryugadai/torikumi.html>

【お問い合わせ先】

神戸市教育委員会事務局学校環境整備課 整備推進担当(計画)

E-mail:edu-keikaku@city.kobe.lg.jp



お問い合わせ先

神戸市ホームページ

